

しんじ新聞

No. 107 2009年9月

品川区議会議員
無所属
高橋 しんじ

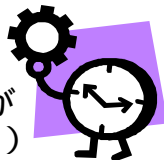


毎週、区政や区内の出来事
についてご報告しています

歴史ながわ

タケノコの栽培

戸越・小山・中延の一帯は、かつてタケノコの産地として有名だった。タケノコ栽培を広めたのは、山路次郎兵衛（築地の廻船問屋で名字帯刀を許された大商人。戸越に別邸があった）。寛政元（1789）年に芝の薩摩藩上屋敷から孟宗竹を入手し、別邸内で栽培、その後付近の農家に薦めた。明治期もタケノコ栽培は盛んでこの地域の農家の収入の相当な部分を占めていたという。小山1丁目に『孟宗竹栽培記念碑』がある。（『しながわの史跡めぐり』）



インフルエンザ講演会開催

— 浜川小学校 —



新型インフルエンザが再流行しております。9/11、浜川小学校PTA主催の緊急講演会

（第3回家庭教育（第3回家庭教育）に参加させていただきました。講師は、田代ひろし氏。医師（開業医、東京医科大学客員教授）で、元都議会議員（世田谷区選出）でもある氏は、都議会で医療施策に取り組んだだけでなく、『新型インフルエンザの特徴と対策』という講演会を各地で行なっています。一部のご報告です。

先生からは、「怖い病気ではない。予防として 不必要な集団行動を控える（映画、カラオケ等）

家（教室等）の換気をうがい、手洗い、マスク等をしっかり。発熱した子どもにはアスピリン系の薬を避け、すぐ病院へ」という注意がありました。この他、専門的なお話もわかりやすく、とても有意義な講演会でした。詳細は、先生のHPをどうぞ。

9/1からの学級閉鎖等は学校閉鎖
【小学校（学年）】立会（6）、延山（5）、八潮学園（5.6）、大間窪（3）、山中（3.4）、戸越（5）、小山（4）、伊藤（1.3）、大井第一（4.5）、旗台（6）、第二延山（ ）、浜川（4）、御殿山（6）、大原（1）、山中（1）、第三日野（6）
【中学校】日野学園（7）、城南（7） 9/15現在すでに休業等が終了した学校も含んでいます。



ちょっとした話ながわ

《病気の乳幼児保育 医院に開設》
「酒寄医院」（東大井 2-26-3 立会川駅徒歩5分）に区内2ヶ所目の病児保育室「まちかど保健室しながわ」が7/1オープン。区が同医院に運営委託。仕事で保護者が病気の子供を家庭で看護できない場合に利用可能。看護師と保育士が1名ずつ常駐。利用には事前登録のうえ予約が必要。定員は1日4人。利用時間は平日 8:30-18:00。料金は1回2千円で食事は持参。対象等、詳細の問い合わせは同保育室 ☎6459-6106へ。（読売新聞 09/07/08）

フエント?



高橋しんじ事務所

東京都品川区東大井 4-13-11-304 〒140-0011
TEL: 03-5461-8757 FAX: 03-5461-8763
E-mail takahashi-shinji@spa.nifty.com
URL http://www.takahashi-shinji.net/
過去の『区政報告』がHPでご覧になれます。
『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。
『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。

高橋しんじプロフィール

若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早稲田実業高、早稲田大学（政経学部政治学科 専攻は地方行政）同大学院博士課程で学ぶ。東京大学研究員、塾などを経て、教師（早稲田実業高、都立日比谷高・青山高・大森高）。軟式野球ルーキーズ監督。平成19年4月 無所属・新人として2541票の支持をいただき初当選!

しがらみのない無所属

【お詫び】9/17から区議会が始まります。『区政報告』の配布時間を変更することがあります。

無所属クラブ 区政報告

107 2009年9月

発行所 品川区議会無所属クラブ
 発行者 高橋慎司(副幹事長)
 〒140-8715 品川区広町2-1-36 6階
 Tel 03-5742-6864 Fax 03-3772-8878

区政へのご要望をお寄せ下さい!!



今週の書架

『部長! ワイヤからランニングがすけてます』
 (ドン小西 朝日新書 740円)
 「ファッションは、最小の努力で最大の効果を得られるビジネスツールだ!」として辛口デザイナーの著者(週刊朝日でも辛口コラムを連載)がファッションを道具にどう男を上げ、どう成功するか(ホント?)ということを描いています。「陥りがちなパターンの傾向と対策」は、イラスト入りで思わず笑ってしまいます。通勤の間に気軽に読めます ~



区政研究ノート 政権交代と市区長の期待

民主党政権が誕生。私たちの生活にどのような影響があるのでしょうか。都内の市区長の考えをご紹介します。(参考:朝日新聞 09/09/02、東京新聞 09/09/16 アンケート回答など)



【住民生活への影響】

住民生活への影響があるとの回答は「多少」などを含めて9割以上。

『子ども手当』や『公立高校授業料無償化』を評価する一方で、「切実な保育所の待機児童解消の具体策がない」「財源のための様々な控除廃止は手当が支給されない世帯では実質増税になる」(東村山市長)という声もあります。

『後期高齢者医療制度の廃止など』に関しては、「現行制度は福祉切捨て。制度変更を期待する」(国立市長)という意見の一方で「制度がスタートしてまもなくの廃止は、社会保障制度改革についての市民の混乱を懸念する」(小平市長)との意見も。

【自治体運営への影響】

国の補助金や予算編成等、自治体運営に何らかの影響があるとした市区長は、7割以上。民主党は、「各種補助金(ひもつき=用途が制約されている)」を「一括交付金(地方自治体が自由に使える)」に改めるとしています。しかし、「一括交付金で大都市への財源配分の大幅抑制が懸念される。都市基盤整備や福祉等膨大な行政需要がある中、都市部の実態に即した財源保障を望む」(中央区長)という要望、「最終的には地方自治体や



住民に対して(社会保障制度の充実に対する)負担が転化される可能性が大きい」(稲城市長)という心配があります。

【地域主権】

期待は強く、「地方自治体の創意工夫で住民の課題をより解決しやすくなる可能性がある」(葛飾区長)、「一括交付金に期待。地方をもっと信頼して欲しい」(八王子市長)、「行政は区市町村に任せたいほうがはるかにいいサービスができる」(杉並区長) その反面で、「いたずらに地方自治体間の競争をあおることを懸念」(板橋区長)する意見も。

濱野健品川区長は?

『民主政権に期待すること』 「地方への分権と財政自主権の確立」。

『変革』に対して 「性急な変革で国会が混乱し、地方の仕事の遅滞につながることはないように願いたい」と警戒感をにじませている。

新政権の政策がどのように自治体へ影響があるか、今後注視してまいります。

あの街 ブームイン!

《大田区にJリーグチームを!》

大田区のサッカー関係者がNPO法人「O(オー)プロジェクト・大田区にJリーグを造る会」を発足させる。市民チームとして来年の都リーグ4部から始め、関東リーグ 日本フットボールリーグ(JFL) Jリーグと昇進するつもり。実現への道は険しく、最短でも10年。名称の「O」は、ゼロからのスタートの意味。Jリーグ到達までにスタジアム建設の必要もあり、資金集めも前途多難だが、関係者は「60万区民の半数が千円の寄附をしてくれれば...」などと強気の胸算用をしている。(東京新聞 09/09/11) ガンバレ! 市民チーム!



朝、駅前にいます!

『区政報告』をお配りしています。議会等の事情で変更する場合があります。見かけたらお気軽にお声をおかけ下さい。

月 JR大井町駅前
 火 京急青物横丁駅前
 木 JR大森駅前
 金 京急立会川駅前
 各7:00-9:30頃

